

法学研究科教授会議事要旨

日 時 平成30年9月13日(木) 16時41分～17時40分

場 所 法経研究棟 大会議室(4階)

出席者 39名(定足数25名)

議 事

(協議事項)

1. 特任教員(常勤)の採用について
研究科長から、特任教員(常勤)の採用について、資料に基づき説明があり、協議の結果、承認した。
2. 特任研究員(常勤)(旧外国人研究員)の採用について
国際交流室長から、特任研究員(常勤)(旧外国人研究員)の採用について、資料に基づき説明があり、協議の結果、承認した。
3. 招へい教員の受入れについて
研究科長から、招へい教員の受入れについて、資料に基づき説明があり、協議の結果、承認した。引き続き、招へい教授の称号付与について説明があり、協議の結果、承認した。
4. 招へい研究員の受入れについて
研究科長から、招へい研究員の受入れについて、資料に基づき説明があり、協議の結果、承認した。
5. 学生の異動について
教務委員会委員長から、学生の異動について、資料に基づき説明があり、協議の結果、承認した。
6. 平成30年度9月期博士後期課程の論文審査及び修了の認定について
教務委員会委員長から、平成30年度9月期博士後期課程の論文審査及び修了の認定について、資料に基づき説明があり、主査から審査結果について報告の後、投票の結果、修了を認定した。
あわせて、全文の公表の保留希望が提出されていることについて、異議のないことを確認した。
7. 研究指導及び研究演習の単位認定(平成30年度春・夏学期)について
教務委員会委員長から、研究指導及び研究演習の単位認定(平成30年度春・夏学期)について、資料に基づき説明があり、協議の結果、承認した。
8. 平成30年度法学研究科TA受入計画一覧表について
教務委員会委員長から、平成30年度法学研究科TA受入計画一覧表について、資料に基づき説明があり、協議の結果、承認した。
9. 平成30年度大学院法学研究科博士前期課程科目等履修生入学試験の合格者判定について
仁木教務委員会委員長から、平成30年度大学院法学研究科博士前期課程科目等履修生入学試験の合格者判定について、資料に基づき説明があり、協議の結果、承認した。
10. 平成31年度大学院法学研究科博士後期課程学生募集要項について
仁木教務委員会委員長から、平成31年度大学院法学研究科博士後期課程学生募集要項について、資料に基づき説明があり、協議の結果、承認した。
11. 平成30年度大学院研究生の受入れについて
仁木教務委員会委員長から、平成30年度大学院研究生の受入れについて、資料に基づき説明があり、協議の結果、承認した。
12. 平成31年度大学院研究生出願要項について
仁木教務委員会委員長から、平成31年度大学院研究生出願要項について、資料に基づき説明があり、協議の結果、承認した。

(報告事項)

1. 部局長会議(7/17)
2. 教育研究評議会(7/17)
3. 人文社会科学系戦略会議(7/11)
4. 学生生活委員会(7/11)
5. 国際交流委員会(7/24)
6. 附属図書館総合図書館運営委員会(7/9)
7. 入試委員会(7/11)
8. 教育課程委員会(7/13)

9. 豊中地区事業場安全衛生委員会（7/20、8/27）
10. 運営委員会（9/6）

研究科長から、外部評価委員会、部局間交流協定に基づく特別聴講学生の受入りの取消し、緊急時の授業と教職員の出勤体制、及び平成30年度豊中地区研究交流会等について、報告があった。
11. 教務委員会報告（7/12、8/17）

教務委員会委員長から、平成30年度秋・冬学期履修・研究計画書等、平成30年度3月期修了者に係る博士論文審査日程、平成31年度 大阪大学大学院副専攻プログラム（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム）提案書等、平成31年度からの新カリキュラムにおける他学部・他研究科に提供する科目、学部・研究科版/学部プログラム版の教育目標及び各ポリシー等の改正、及び平成31年度大学院博士前期課程入学試験の実施について、報告があった。
12. その他
 - (1) 学内委員会委員の選出について
研究科長から、学内委員会委員の選出について、資料に基づき報告があった。
 - (2) 法学研究科主催のシンポジウム（11/24）について
研究科長から、法学研究科主催のシンポジウム（11/24）について、資料に基づき報告があった。
 - (3) 豊中地区研究交流会について
研究科長から、今年度の豊中地区研究交流会について、法学研究科が幹事部局として、12/18に開催されることとなったことについて報告があった。
 - (4) 防災訓練について
安全衛生管理室長から、11月5日に実施される文系部局合同の防災訓練について、報告があった。
 - (5) 社会課題を意識した研究について
研究科長から、社会課題を意識した研究について、資料に基づき報告があった。
 - (6) 教員の海外渡航について